

ヒラテテナガエビ

5対ある脚のうち前から2番目がとても長いことから、「手長エビ」と呼ばれています。

体長は9 cm程度まで成長し、体色は茶褐色です。ニホンテナガエビやミナミテナガエビとは異なり胸の横には「m」字の模様はありません。腰の出っぱった部分に黒い帯があり、ハサミは太く平らです。

主に河川の下流域から中流域の流れのある石の多い瀬に生息しています。

肉食性で、水生昆虫や小魚、動物の死体などを食べます。

繁殖期は春～夏です。孵化（ふか）した幼生は、汽水域（きすいいき）で降り、そこで生活し、変態後に河川を遡上（そじょう）します。

富士市での現状

主に富士川、富士早川の下流域、有無瀬川等で確認されました。



ヒラテテナガエビを確認したメッシュ

